

武蔵野市の年次財務報告書概要 平成 20 年度版

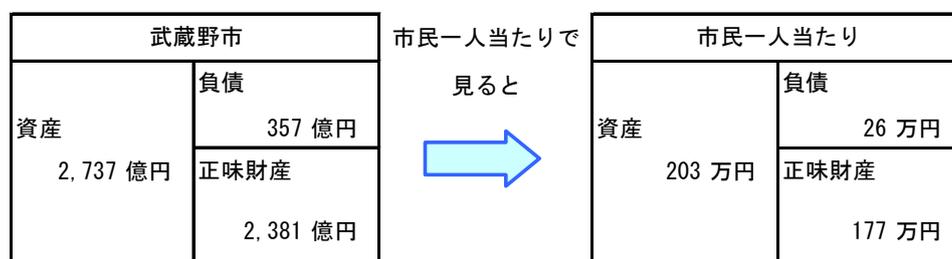
§ 1 一般会計の概要について

1 貸借対照表

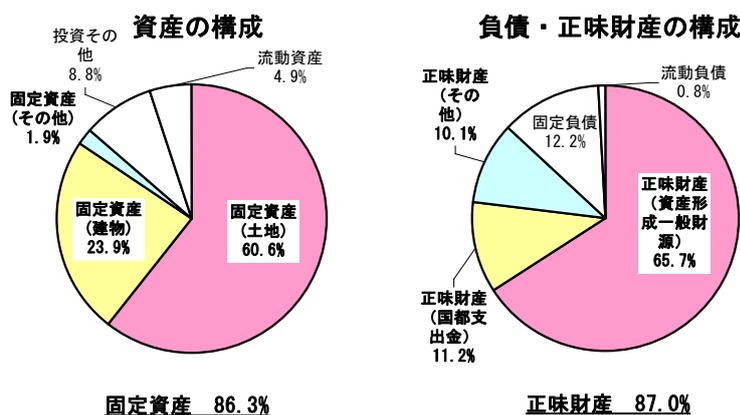
(1) 財政状況の推移・・・平成 20 年度の資産合計は 2,737 億円（前年度比 52 億円増加）、負債合計は 357 億円（前年度比 20 億円減少）、正味財産合計は 2,381 億円（前年度比 73 億円増加）です。正味財産比率（総資産に占める正味財産の割合）は 87.0%と高い水準です。市民一人当たりになると資産 203 万円（前年度比 3 万円増加）、負債 26 万円（前年度比 2 万円減少）、正味財産 177 万円（前年度比 5 万円増加）です。

財政状況の推移

年 度	人 口 (各年度末)	資 産 (A) 百万円	負 債 (B) 百万円	正味財産 (C) 百万円	正味財産比率 (C) / (A) %	市民一人当たり (万円)		
						資産	負債	正味財産
平成 16 年度	132,515	251,329	41,285	210,044	83.6	190	31	159
平成 17 年度	133,990	257,358	41,033	216,325	84.1	192	31	161
平成 18 年度	134,123	265,277	39,431	225,846	85.1	198	30	168
平成 19 年度	134,290	268,500	37,691	230,809	86.0	200	28	172
平成 20 年度	134,686	273,747	35,656	238,091	87.0	203	26	177



(2) 資産・負債・正味財産の内訳・・・資産のうち 86.3%が固定資産です。一方、負債が全体の 13.0%、正味財産が 87.0%です。正味財産の比率が高いということは、資産形成について、現在までの世代ですでに負担し、将来の世代へ引き継ぐものが多いことを意味します。



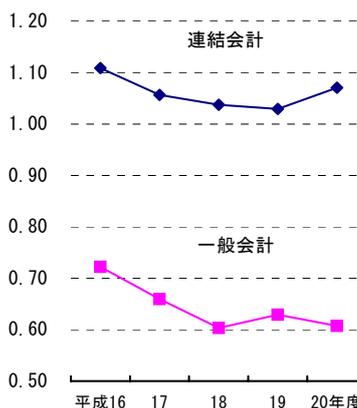
(3) 市有施設の更新コストと財源・・・平成16年度に策定した「公共施設保全計画」に基づいて、今後も維持修繕工事を計画的に進めていきます。また、市有施設の更新や新設にあたり、すべてを将来の世代に負担させるのではなく、できる限り世代間の負担の公平性を保つことが必要です。そのため、基金や市債の活用により、バランスの取れた資金調達をしていく方針です。施設の更新・新設や用地取得のための基金として、公共施設整備基金などの特定目的基金を設置しています（期末残高186億円）。

(4) 市債の残高と返済能力・・・市債残高238億円は、収入（一般財源）392億円の0.61年分相当となり市債残高は低い水準です。

収入に対する借入金比率

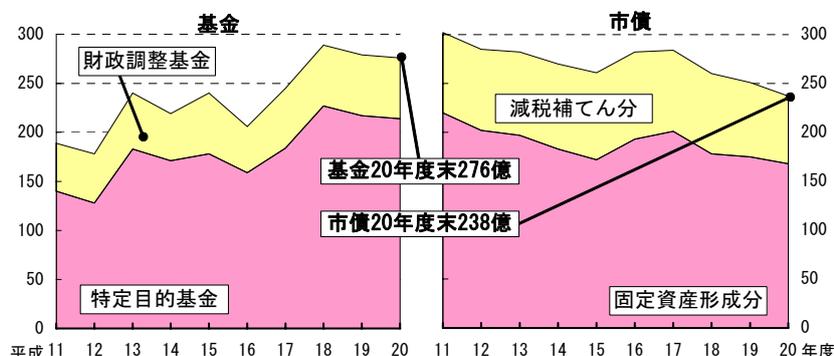
連結会計	平成16	17	18	19	20年度
借入金	490	487	496	458	468
収入（一般財源）	442	461	478	445	437
借入金÷収入	1.11	1.06	1.04	1.03	1.07
一般会計	平成16	17	18	19	20年度
借入金	284	273	260	251	238
収入（一般財源）	393	414	431	399	392
借入金÷収入	0.72	0.66	0.60	0.63	0.61

収入（一般財源）は、一般会計では、市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税及び交通安全対策特別交付金の合計、連結会計ではそれらに水道・下水道使用料を加えたものです。



(5) 基金と市債の状況・・・市債残高から基金残高を差し引いた純債務は、平成17年度の28億円から平成18年度に△29億円になり資産超過に転じました。平成20年度も資産超過を維持しています。

基金と市債の年度末残高の推移（億円）



(6) 退職金支給額・・・平成22年度までが、団塊世代の定年退職に伴う退職者数のピークで、2年間で合計24億円程度の退職金が見込まれます。一年度の平均的な退職金の支払額は8億円程度ですので、この2年間の負担増はおよそ8億円になります。

2 行政コスト計算書

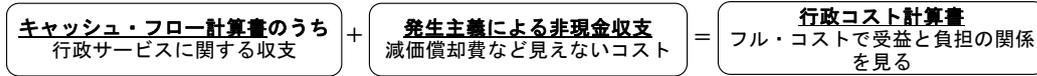
行政コスト計算書により、減価償却費など発生主義による非現金コストを含めたフル・コストを、当期の収入で賄えているかどうか把握できます。平成20年度は黒字が55億円となり、平成19年度の50億円から5億円の増加となりました。

3 キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書により、財務諸表を整備した平成10年度以降の平均で資金の動きを見ると、行政活動収支の黒字77億円に対して、資産形成活動収支は56億円の赤字です。差し引き21億円が

フリー・キャッシュになり、フリー・キャッシュの黒字により財務活動収支の赤字（市債の償還や基金の積立）を埋めていることとなります。資金配分の傾向はバランスがとれています。

キャッシュ・フロー計算書と行政コスト計算書（一般会計）（億円）



キャッシュ・フロー計算書	平成16	17	18	19	20年度	平均 (10~20)
行政サービスに関する収入	486	510	519	493	503	503
収支差額（総計）	10	0	△1	2	22	4
行政サービス収支	52	92	108	66	78	77
資産形成収支	△ 78	△ 42	△ 52	△ 64	△ 47	△ 56
財務活動収支	36	△ 50	△ 57	0	△ 9	△ 17
歳計現金（形式収支）	29	29	28	30	51	30

発生主義による非現金収支を加える
減価償却費など見えないコストも含める。
これらのコスト情報を、毎年の事務事業評価に活用。

行政コスト計算書	平成16	17	18	19	20年度	平均 (10~20)
収入	487	511	521	498	509	504
うち市税	342	366	338	366	362	360
支出	456	456	437	448	454	455
うち発生主義による非現金コスト	22	38	26	21	28	29
収支差額	31	55	84	50	55	43

発生主義による非現金コスト：減価償却費、有形固定資産除却損、貸倒引当金繰入額、退職給与引当金繰入額

§ 2 連結会計の概要について（一般会計、特別会計、公営企業会計、財政援助出資団体）

連結会計 武蔵野市比較連結財務諸表

（単位：億円）

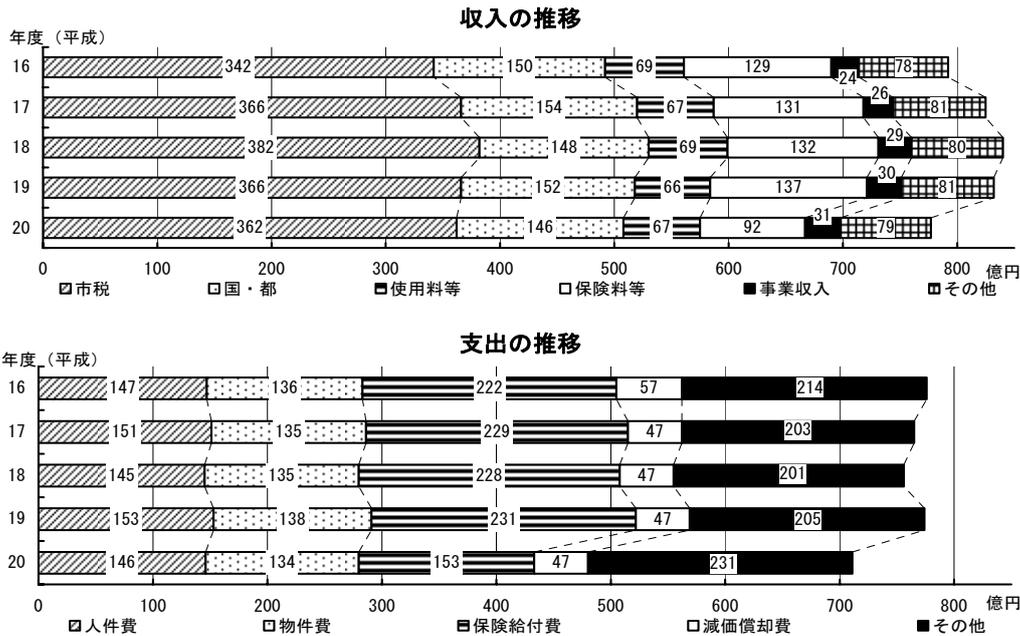
		平成19年度	平成20年度	増減
貸借対照表	資産（A）	3,312	3,400	88
	負債（B）	643	645	2
	正味財産（C=A-B）	2,669	2,756	87
	正味財産比率（C/A）%	80.6%	81.0%	0.4
行政コスト計算書	行政サービスにかかる収入（D）	832	777	△ 55
	行政サービスコスト（E）	774	711	△ 63
	収支差額（F=D-E）	58	66	8
キャッシュ・フロー計算書	行政サービス収支（G）	50	52	2
	資産形成収支（H）	△ 30	△ 37	△ 7
	財務活動収支（I）	△ 33	10	43
	当期収支差額（J=G+H+I）	△ 13	24	37
	年度末現金残高	71	95	24

1 連結貸借対照表

平成 20 年度末の連結資産は 3,400 億円（前年度比 88 億円増加）、連結負債は 644 億円（前年度比 2 億円増加）、連結正味財産は 2,756 億円（前年度比 86 億円増加）となりました。市民一人当たりで見ると、資産は 253 万円、負債は 48 万円、正味財産は 205 万円です。

2 連結行政コスト計算書

武蔵野市の一般会計と特別会計、公営企業会計、財政援助出資団体とを合わせた全体の行政サービスコスト 711 億円に対し、収入は 777 億円となり、収支差額は 66 億円となりました。平成 19 年度と比較すると、行政サービスコストは 63 億円減少、収入は 54 億円減少したため収支差額は 9 億円の増加となりました。



3 連結キャッシュ・フロー計算書

行政サービスの収支差額 52 億円、資産形成の収支差額△37 億円、財務活動の収支差額 10 億円の合計、24 億円が当期の収支差額となります。主なものは、一般会計の 22 億円です。前年度繰越金 71 億円に当期の収支差額を加えて、当期末の歳計現金残高は 95 億円となり、この歳計現金は翌年度に繰り越しました。

4 連結の範囲

一般会計、特別会計（下水道事業会計、国民健康保険事業会計、老人保健（医療）会計、後期高齢者医療会計、介護保険事業会計）、公営企業会計（水道事業会計）及び財政援助出資団体を対象にしました。

団体名		業務内容
出資団体	(財) 武蔵野市開発公社	武蔵野市における都市開発事業の円滑な推進
	武蔵野市土地開発公社	公共用地の先行取得・管理
	(財) 武蔵野市福祉公社	在宅高齢者に対する健康づくりの情報と福祉サービスの提供
	(財) 武蔵野文化事業団	市民が行う芸術文化の創造活動の援助
	(財) 武蔵野健康開発事業団	保健医療情報の提供及び各種検診事業、調査研究の実施
	武蔵野市国際交流協会	市民レベルの国際交流事業の促進
援助団体	(財) 武蔵野スポーツ振興事業団	生涯体育視点からのスポーツ振興事業の実施
	(社) 武蔵野市シルバー人材センター	高齢者への就業機会の提供
	(福) 武蔵野市民社会福祉協議会	社会福祉事業に関する調査・企画・宣伝
	武蔵野市子ども協会	地域住民による青少年の育成活動の促進
(福) 武蔵野	地域における必要な福祉サービスの総合的な提供	